

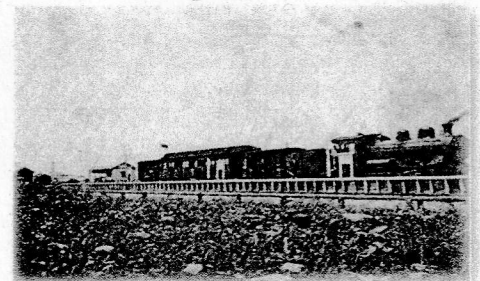
北海道拓殖鉄道 学習レポート

今も愛され続ける物

みなさんは、知っていますか。北海道にある北海道拓殖鉄道、通称拓鉄のことを。

開拓を目的として住民が少ないところでも開業したが、当時から営業成績はあまりよくなく、補助金を受けなければいけない状況だった。そのため1949年には廃止になった区間もある。さらに1962年の台風9号による被害が重なり、営業はますます厳しくなって、結局瓜幕～東瓜幕を廃止、屈足～瓜幕もトンネルの問題から休止になってしまう。残る区間も1968年7月に休止され、そのあと廃止になった。

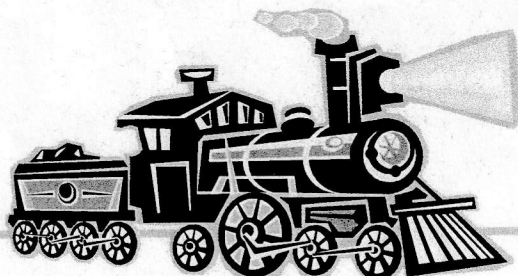
今はもう拓鉄は走っていないが、瓜幕にある拓殖鉄道駅跡地のように残されているところもある。跡地を残す理由は、瓜幕の場合北海道拓殖鉄道の本域開発の功績を永く伝えるためだ。瓜幕地域住民のみなさんが立ち上がり拓鉄の歴史を人々に忘れないでほしいため、平成16年7月に建立された。



開拓途中の様子

協力

瓜幕・鹿追に線路と車両があり、瓜幕に留学してきたときから気になっていました。それが、北海道の開拓に使われていたものだということが、今回の学習で分かりました。歴史的にも貴重なものがあり、こんなに身近にも歴史に貢献したものがあることと、当時使われていたものが今もなお残っていることがすごいと感じました。それを残すにもいろいろな人の助けがあり、すごく住民に愛されていんだと改めて感じました。



あとがき

1年生になって初めてパソコンでレポートを作って、意外と内容にあった写真を選ぶのが大変でした。

パソコンなので色も変えられるので少しだけ鮮やかにしました。

